

## 論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称	博 士 ( 学 術 )	氏名	LUANGMANY DUANGMANY
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論 文 題 目			
Analysis of the Relationship between Rubber Tree Plantation and Forest Resource Dependency: A Case Study of Smallholder Rubber Plantation in Northern Laos			
論文審査担当者			
主 査	広島大学大学院国際協力研究科	教授	金子 慎治 印
審査委員	広島大学大学院国際協力研究科	教授	市橋 勝
審査委員	広島大学大学院国際協力研究科	准教授	後藤 大策
審査委員	広島大学大学院国際協力研究科	教授	中越 信和
審査委員	神戸大学大学院国際開発研究科	准教授	伊藤 高弘
〔論文審査の要旨〕			
<p>ラオス北部の中国国境近くの山岳地域では、近年の中国での天然ゴム需要増加を受けて焼き畑農業による森林破壊と貧困問題を同時に解決するための政策が導入され、小規模な家族経営によるゴム・プランテーションが急速に拡大している。本研究は、こうした政策が森林破壊の主要原因である非木材林産物の生産活動の抑止に効果的かどうかを家計調査から得られる非木材林産物への依存度に着目して分析した環境経済学の実証研究である。</p> <p>論文は全7章で構成されている。第1章では序論として研究の背景を説明し、第2章で既往研究レビュー、本研究の目的、分析枠組みを述べ、第3章ではラオス北部の山岳地域で実施した家計調査の詳細についてまとめている。第4章は非木材林生産を含む複数の家計収入源における労働時間の配分について分析し、時間配分でみた非木材林生産への依存度が非農業賃金収入の増加によって低下することが明らかとなった。第5章では非木材林生産の自家消費を含む総価値と売上の総収入に対するそれぞれの依存度を決定する要因について、ゴムを植林してから生産するまでの非生産段階と生産段階に分けて分析した。非生産段階では森林までの距離のみが依存度に影響したのに対し、生産段階では天然ゴムの土地生産性向上が非木材林生産の依存度を低下させること結果となった。第6章では天然ゴム生産の生産効率性の世帯間、コミュニティ間での違いを評価し、その影響要因について同定した。その結果、コミュニティ間での格差以上に同一コミュニティ内の世帯間格差が大きく、その格差は経験年数と世帯主の性別に影響されることを指摘した。最後に第7章で全体の分析結果から得られた知見をまとめ、政府の政策が一定の妥当性を有していること、さらにそのことは今後、天然ゴム生産の経験年数の蓄積や非農業賃金収入増加の機会向上によって、さらに非木材林生産の依存低減効果が増幅する可能性を指摘した。</p> <p>なお、これまでに本論文に関連して環境経済・政策学分野の国際誌を含む学術論文2編が公刊された。以上、審査の結果、本論文の著者は博士(学術)の学位を授与される十分な資格があるものと認められる。</p>			